

◇ 学園彙報 (平成六年度)

◇ 図書館だより

本学園図書館では、今年も一人一冊献本運動を展開しております。お蔭様にて同窓の各聖・各位・有縁の皆様方の献本運動のご協力を賜わり、成果も上っております。平素より仁心のご高配・ご厚志に対しまして、館員一同より厚く御礼申し上げます。

- 平成五年度図書寄贈者「芳名
- 1 池見 猛殿 『宮澤俊義氏の外国製国民主権論を抹殺』 他七冊
  - 2 伊藤淳二殿 『理想』 一冊
  - 3 秋山智孝殿 『山梨原巨木誌』 一冊
  - 4 大倉精神文化研究所殿 『大倉邦彦旧蔵書目録和書』 一冊
  - 5 池原錬昌殿 「春雷」 十一冊
  - 6 和泉定広殿 『歴史と自然 甲州の峠』 一冊
  - 7 国土館大学殿 『法と政治』 一冊
  - 8 河村孝照殿 『新国訳大蔵経 文殊經典部②』 一冊
  - 9 国際仏教学研究所殿 『HARIBHATTA AND GOPA DATA』 二冊
  - 10 朝経済広報センター殿 「生活Uマガジン」 一冊
  - 11 児島錬戒殿 「数学辞典」「日本家紋総鑑」 他九冊
  - 12 鬼内仙次殿 「灯籠流し」 一冊
  - 13 尾崎文英殿 「尾崎文英集」 日本全国歌人叢書(戒壇) 一冊
  - 14 光寿園殿 「聖日蓮」 二冊
  - 15 講談社殿 「空白の事故死」
  - 16 工学院大学殿 『工学院大学学園百年史』
  - 17 功刀貞如殿 「日蓮聖人の身延山」 三冊
  - 18 熊平製作所殿 「抜華のつづり その五十三」
  - 19 藤井教雄殿 「たいへん 島原大変二百回忌記念誌」
  - 20 総理府国際平和協力本部事務局殿 「国連平和維持活動—わたしたちの国際平和協力」ビデオ
  - 21 浅草寺殿 「佛教文化講座 37」
  - 22 日蓮宗宗勢調査会殿 「日蓮宗全国宗勢調査統計表」
  - 23 双思書房殿 「みんなで教育を考えた」
  - 24 清文社殿 「平成五年、日本の白書」
  - 25 身延山大学設置事務局殿 「読売年鑑・分野別人名録」 他六冊
  - 26 種智院大学殿 「佛教万華」
  - 27 聖徳学園殿 「聖徳学園六十年の歩み」
  - 28 東京地方税理士会殿 「東京地方税理士会五十年史」
  - 29 電気事業連合会殿 「日本のエネルギーと技術 さんすい」

- 二冊
- 30 大乘淑徳学園殿 『共生』
- 31 田中慈妙殿 『草山要路』 他七十二冊
- 32 東京相和銀行殿 『経営と人(マスコミに見る東京相和銀行会長 長田庄一の歩み)』
- 33 中央学術研究所殿 『真理と創造』
- 34 戸田浩暁殿 『続 天地晴明』
- 35 日蓮宗新聞社殿 『劇画日持上人』 他二冊
- 36 (甥)日本原子力文化振興財団事業部殿 『ブラックアウト・シティー大停電』マンガ
- 37 日本ビルサービズ株式会社殿 『ベルリンの壁 天使たちの記録』 他一冊
- 38 日登寺殿 『明治八年屯田開創日登寺百年史』
- 39 日蓮宗布教院編集事務局殿 『布教院々報』
- 40 日蓮宗宗務院殿 日蓮宗宗報 第一五〇号
- 41 成田山新勝寺殿 『モノグラフ、シリーズ III』 一冊
- 42 日蓮宗北海道西部教化センター殿 『日訓本化妙典』上五冊 下六冊
- 43 日蓮宗青森県宗務所殿 『日持上人第七百遠忌記念誌』
- 44 納税協会連合会殿 『総合税制研究』
- 45 広島県民生活部文化振興室長殿 『広島県名誉県民小伝集』 六冊一組・四組
- 46 藤田猪和男殿 『般若波羅蜜多心経』
- 47 花園大学国際禅学研究所殿 『臨濟録一字索引』
- 48 はまなし文化の会山下絵業株式会社殿 『はまなし』第二号
- 49 世界連邦日本仏教徒協議会殿 『仏教東漸百年記念先覚者の遺徳を偲ぶ』
- 50 法華仏教国際交流協会事務局殿 『絵で見る釈尊の生涯』
- 51 松下電器産業株式会社殿 『松下幸之助発言集 45』
- 52 町田是正殿 『日蓮聖人にみる宗教思想』 二冊
- 53 松本光華殿 『みんなの地球を救うには』 他三十九冊
- 54 モービル石油殿 『ONLY (1893—1993) YESTERDAY』
- 55 身延山久遠寺殿 『みのぶ合本第83巻』
- 56 望月海淑殿 『法華』五月号—二月号 『海鳴り』他二十六冊
- 57 望月理殿 『鳥居松枝能者養成所と思い出』
- 58 明德学園殿 『明德学園70年のあゆみ』
- 59 望月泰幹殿 『新国訳大藏経文殊経典部2』
- 60 村 英男殿 『日本国語大辞典』全20巻 他一四二八冊
- 61 宮田恵美殿 『チベット旅行記全五巻第2回チベット旅行記』 六冊
- 62 山梨県立甲府西高等学校殿 『創立九十周年記念誌』
- 63 山梨県教育委員会殿 『南アルプスカモシカ保護地域特別調査報告書』

- 64 山梨県みどりの基金殿 『やまなし森林浴』 二冊
- 65 山梨県立美術館殿 『葡萄とワインの美術』 他四冊
- 66 山梨大学殿 『山梨大学は、いま』
- 67 山梨県農務部農村整備課殿 『土地分類基本調査 大河原  
級次』
- 68 山梨県立女子短期大学図書館殿 『収書目録』
- 69 山下清一殿 『日蓮聖人大事典』 他二、三冊
- 70 山梨県芸術祭実行委員会殿 『県民文芸』
- 71 山梨県立文学館殿 『図版解説 芥川龍之介資料集』  
他一冊
- 72 山中喜八殿 『日蓮聖人真蹟の世界』下 二冊  
(自平成五年四月一日〜至平成六年二月二十八日 掲載順  
不同) 以上
- 本学園図書館は、平成七年四月一日、四年制大学開校予定に  
向って、より一層図書充実を計ることが望まれております。  
今後とも、広く皆様様の「一人一冊献本運動」の御協力を切  
にお願ひ申し上げます。
- 図書館では、同窓生諸兄・有縁関係者・図書館建設資金御寄  
付者・献本協力者・開宗七五〇年報恩事業学園改組転換学部新  
設事業寄付者・研究者等の利用の便を計るために閲覧証(一年  
間有効)を一階のカウンターにて用意しておりますので御来館  
の際には館員にどうかお尋ね下さい。  
(桑名眞正)

### ◇同窓会本部だより

身延山短期大学学園同窓会役員会の開催

平成五年度、同窓会役員会が平成五年十月二十六日(火)、  
身延山短期大学学園を会場として左記の式次第にて盛會裡に行  
われました。

※役員会次第(司会・桑名眞正)

- (1) 開会の辞(谷川寛徳副会長)
- (2) 玄題三唱・挨拶(小崎龍雄会長)
- (3) 理事長挨拶(学園担当理事・功刀布教部長)
- (4) 学長挨拶(宮崎英修学長)
- (5) 校長挨拶(秋山智孝校長)
- (6) 議事

イ、議長選出

ロ、身延山短期大学改組転換経過報告(学園担当理事)

ハ、同窓会勧募現況報告

ニ、本部庶務・会計報告

ホ、各支部の現況報告

ヘ、その他

- (7) 玄題三唱(小崎龍雄会長)
- (8) 閉会の辞

※議事録

イ、議長選出 平原要俊山梨県副支部長が選出される

ロ、身延山短期大学改組転換経過報告（学園担当理事）

河村孝昭先生が当初学部部長予定者であったが諸般の事情により、仲澤浩祐先生に変わりました。仲澤先生は学部長予定者として設置準備局長になり、その仕事を推進されている。

そして仲澤局長が紹介され、仲澤局長の挨拶。又、『学園当局から要請を受け、文部省に必要書類等を提出するなど、諸準備を押し進めて参りましたが現段階では文部省設置審査会の審査待ちの状況にあります』との報告をした。

再び刃刀学園担当理事より今日に至るまでの経過報告がなされた。

\* 四月末日文部省へ第一次申請書類が受理される。

\* 七月大学改造・高校校舎・グランド整備の入札、一括して竹中工務店に落札となる。（8億31万円）

\* 七月二十八日文部省へ書類申請受理される。八月末日迄に説明書類提出。

\* 九月私学行政課・企画課のヒヤリング（事業説明）追加書類等の提出。

\* その中で特に身延山久遠寺からの寄付金が多いとの指摘があり、将来は学園独自の経営を考える方向へ進むようアドバイスを受ける。

\* 十月二十五日文部省企画課の指導を受ける。教員組織・

教員の研究費等についての指導。

\* 来年秋には現地調査があるので、なによりも工事等を進めていくことが肝心である。

\* 高校校舎の新築は平成六年七月完成予定

\* グランドの造成は平成六年七月完成予定

\* 大学校舎改造は、平成六年七月一日工事開始（十二月三十一日迄）

\* 平成七年四月一日開校予定

ハ、同窓会勸募現況報告（奥野本洋会計幹事）

\* 平成五年十月現在の「開宗七五〇年報恩事業改組転換学部新設事業寄付状況」の明細が報告された。

ニ、本部庶務（桑名貞正庶務幹事）

① 昨年の総会報告 身延山大学改組転換に当って、実現の為の物心両面の協力金二億円以上の勸募の決議文の報告・勸募のお願い文と同窓会取扱としての、振込用紙を全国同窓生一八〇〇余人に郵送する。（二・三・四・五月）その内、転居先不明等で一割近く戻る（七月二十九日現在、三、一七五万円）

② 勸募金額が思うように伸びないので再度（八月）役員宛にお願い文を郵送した結果十月二十二日現在で、学園関係者から四七七〇万円の寄付が集まった。又、八月のお願い文に呼応して、大阪支部長・牛居一教師は関係者からの三二〇五万円を現金で持参。

③各支部の総会への学園関係者出張

\*平成四年九月三日九州地区・延山会より要請があり秋山智孝校長出張。

\*平成五年三月十日九州支部役員会へ桑名眞正庶務幹事出張。

\*平成五年三月十二日北陸四県同窓会役員会へ秋山智孝校長出張。

\*平成五年六月山梨県支部総会へ学園担当理事功刀部長・桑名眞正庶務幹事出張。

④慶弔規定に基づき祝電6本、弔電5本の報告。(本部に連絡有りし分)

会計報告(奥野本洋会計幹事)

\*別紙の通り平成四年度の会計報告がされ、承認された。  
ホ、各支部の現況報告

\*京都支部・奥田恵遠師 寄付金について

支部でまとめて納めたい。個人的にも頑張りたい。  
\*和歌山支部長・蘆田恵岳師 会員全員で勧募の件を話し合っている。

立正大学の分担金は済んだので身延山大学に頑張りた  
い。

\*福岡支部・渡辺登法師(中村副会長欠席)福岡では、  
二回学校当局に来てもらっている。

十一月九日支部総会を開き協力をお願いする。

十一月十六日九州全体総会を開催し、身延山大学への  
寄付協力する旨を呼びかけている。

\*京都支部長(一部)眞名英俊師 十一月十日に会員へ  
勧募の件を呼び掛けている。

\*兵庫支部長・谷口宗敏師 本日の役員会に参加し十  
月二十七日に支部総会を開くことになっている。一口  
いくらということでもまとめて出したいと思う。

\*青森支部・佐藤秀旭師 現在二十二名の同窓生がいる。  
祖山の為、出来るだけ協力して勧募したい。青森県は  
今年は冷夏で稲作が良くないので平成七年の開校の年  
には集めたい。

\*山梨県副支部長・平原要俊師 山梨県は前の図書館の  
時は一〇〇〇万円寄付したのでその倍の二〇〇〇万円  
を勧募したいと思う。会員の三回分納も結構。

(住職は十五万円以上、非住職は五万円以上)  
\*富山支部長・谷川寛徳師 同窓生九名。会員は一口十  
万円以上とした。

ただし、個人で出す力のない人は、百萬人講を十人以上  
上集める。

その場合、学校指定とすることの運動を起こしている。  
\*大阪支部長・牛居一教師 寄付することは賛成である。  
大阪の人々は大変関心を持っている。大学は本化の善  
薩をつくる場所である。会長さんに一度来てもらい説

明してもらいたいと思つてゐる。

\* 石川県支部長・出島元学師 石川県は一部二部と二つに別れている。

会員一人につき十万円と決めて会員は承知している。責任を持つて集めたいと思つてゐる。

\* 東京支部長・久本信明師 東京は古くから支部があるが、現在二二〜二三人が集まる現状である。

立正大学の方によく多額の寄付が終つた所であるが本日の役員会の内容を聞いて来年勧募の件をまとめたいと思つた。

\* 神奈川県支部支部長・荒川日範師は欠席のためメッセージが読み上げられる。小林海優師、五月例年会を妙福寺にて開催し勧募の件が話された。十一月に会合があり勧募の方法の具体化を決め、最大限の協力をしたい。小崎会長自ら会員の寺を回つてお願いしたいと言つてゐる。

へ、その他

\* 宮田如龍理事、山梨県支部の役員会で勧募を同窓生以外の寺院にも、お願いすることを決め実際に歩いてみると学校出身者以外でも勧募があるので、各支部でも歩いてみてはどうか。

\* 庶務・会計幹事の手当てを五万円から七万円への提案がなされ出席役員一同賛成となり増額が認められた。

\* 出島元学支部長より全国の宗務所長宛に、勧募のお願いをしたらどうかの提案あり、それに対し、学園担当理事功刀部長は、全国寺院に百萬人講の推進委員の依頼状を出しているので、お願いをしているとの答えがあった。

\* 出島支部長より先生方に学生を呼ぶ場合は、名前に君付けをしてほしい。又、先輩・後輩の在り方を見直し、学生同士仲良くしてほしい等の要望があった。

\* 奥田恵遠師より、身延の特色ある人材を教育してほしい。身延に來た学生は、さすがだと身延の精神に学ぶ感動ある教育をしてほしい。等の要望があった。以上

(文責 桑名眞正)

## 研究活動報告

### (1) 日本印度学仏教学会

第四十四回学術大会は、五月二十二日(土)、二十三日(日)の両日にわたり、当番校高野山大学(和歌山)の主催で行われた。本学からの発表者とテーマは次の通りである。

#### ◆ 金綱集の研究

中條 暁 秀

#### ◆ 諸律に記された「二仏」

背の高い塔・博泥」の意味するもの 高橋 堯 昭

(2) 日本仏教学会

平成五年度学術大会は、十一月六日(土)、七日(日)の両日にわたり、当番校東京大学(東京)の主催で行われた。本学からの発表者とテーマは次の通りである。

◆ 原始仏教における聖と俗 池上 要 靖

(3) 日蓮宗教学研究発表大会

第四十六回学術大会は、十一月十九日(金)、二十日(土)の両日にわたり、身延山短期大学(山梨)を会場にして開催された。本学からの発表者とテーマは次の通りである。

◆ 提婆品と竜神信仰との関連 高橋 堯 昭

◆ 開目抄に現れた一念三千義について 桑名 貫 正

◆ 江戸の日蓮宗の年中行事 望月 真 澄

◆ 江戸中期における諸堂整備について 奥野 本 洋

——学禅院日蓮を中心として——

(4) 日本宗教学会

第五十二回学術大会は、九月八日(金)、九日(土)、十日(日)にわたり、当番校北海道大学(北海道)の主催で行われた。本学からの発表者とテーマは次の通りである。

◆ 日蓮聖人遺文における御講聞書の位置 中條 暁 秀

◆ 宗敎教育——行と学—— 渡辺 寛 勝

平成五年度 卒業論文一覧

日蓮聖人の出自について

日蓮聖人における謗法観

法華経における菩薩行

日蓮聖人の法華色説の一考察

日蓮聖人の末法観

身延山中の諸人供養に見る檀越の役割

日蓮大聖人佐渡生活一考察

日像上人の京都弘通

天台智願における行法観——四種三昧を中心として——

日蓮聖人の佐渡での生活

身池対論について

上行自覚について

身延離山後の日興上人について

日蓮聖人の身延での生活

日蓮聖人の曼荼羅勧誦の諸尊について

日蓮宗の守護神・鬼子母神を中心として

苦についての一考察

身延山と武田氏、穴山氏との関係

日蓮聖人と法華経——御遺文を通して——

日蓮聖人の聖徳太子観

松本 祐

白川 充 延

猪野 能 普

今泉 導 明

井前 本 隆

宇佐美 秀 貴

大山 晃 一

金岡 信 行

近正 文 修

志村 英 徳

鈴木 本 学

高林 弘 乘

田辺 信 行

山崎 裕 嗣

豊沢 養 周

中山 了

梨羽 鍊 瀬

沼田 晃 佑

野中 美 香

島山 貴 利

日蓮聖人の花押について	平岡 寿美乃
武田信玄の身延山政策	松尾 光真
久遠成院日親上人について	松島 康昌
五綱教判について — 序と師について —	萬田 力
日蓮聖人に於ける「行」の研究 — 不輕菩薩の仏性礼拝をもとに —	水戸 安志
『観心本尊抄』に於ける日蓮聖人の「本尊」	森岡 孝文
日蓮聖人の題目観	八竹 亜紀
日持上人伝の一考察	山本 義剛
平等思想について	後藤 義光
日蓮宗の祈禱の根源	今野 玄海